

<資料>宮古島大会関係の新聞記事抜粋

【10月13日】

・『毎日新聞』2006年10月13日夕刊「英語能でシェイクスピア」

毎日新聞 (夕刊) 能楽師が宮古島で初の英語能 14 2版 14

2006年(平成18年)10月13日(金曜日)

社会 事件 ひと 話題

英語能でシェイクスピア

観世流能楽師がシェイクスピア悲劇に英語で挑む「英語能・ハムレット」が14日、沖縄県宮古島市で上演される。独自の英語能制作に四半世紀にわたって取り組んできた静岡大名誉教授、上田邦義さん(71)らの活動がプロ能楽師が共鳴して実現した。英語による能の上演は、600年以上の歴史を持つ観世流で初めて。

観世流が宮古島で

上田さんは81年に英語による能のグループを結成。英語のせりふに合う即興しや動きを能の名作から選り出して自本を作り、82年から静岡市で初演した。シェイクスピア4大悲劇すべてを「英語能」に作り上げ、海外公演も重ねている。

今回は演出、ソレ(動演)、後見の3役を観世流能楽師が担当し、これまで上田さんが行っていたシテ(主役)のハレトも同じく観世流能楽師の河本望さん(67)が担当する。

会場は同市のマテダ市民劇場。市制1周年記念事業として上演される。会場では和英両語の対訳台本が配られる。名ゼリふ「To be or not to be(生きるべきか、死ぬべきか)」は原文のままだが、続く部分は能の幽玄の世界観に合わせて変えており、最大の見どころ。大役を前にけいこ(むね)河本さんは「響きの美しさを養いながらも、たのしみ」を話している。



「英語能」の公演スケジュール

日英両国の古典文化が融合する

宮古島市制一周年記念公演
Celebrating the 1st Anniversary of Miyako City
14日(金)15日(土)16日(日) 10時～12時 会場: 宮古島市民劇場

【10月14日】

・『宮古毎日新聞』2006年10月14日「きょう「英語能・ハムレット」」

・『宮古新報』2006年10月14日

「市制一周年で能公演」

2006年(平成18年)10月14日 土曜日

宮古新報

市制一周年で能公演

国際融合学会が市長表敬



宮古島市制一周年記念文化行事を宮古島市市民会で行う国際融合学会が、上田邦義会長ら八人が十三日午後、市役所平良庁舎を訪れ、伊志嶺市長を表敬訪問した。

行事はきょう十四日、国際融合学会という新しい視点交々ながら、市の将来にいて考える機会とするためシンポジウム「英語能・ハムレット」の公演が行われる。

上田会長は「英語能を一九八一年から国内外で百回以上演じてきた。今回の公演では観世流能楽師が英語で能・ハムレットのシテ(主役)を演じるが、これは能楽史上初めてのことで歴史的に意義がある」と、喜ぶのであり、多くの観客を呼びかけた。

伊志嶺市長は「シンポジウムが開催されることで、初めこの能公演を喜ぶのであり、ぜひ来島していただき、短い滞在期間が宮古で楽しんでほしい」と感謝の意を表わした。

市制一周年記念シンポジウムは午前十時から、市民会館大ホールで「二十世紀人間の進化と宮古島の輝き」をテーマに行われ、入場は無料。英語能・ハムレットは午後二時から、マテダ市民劇場で行われ、自由席は無料、指定席は三千円。プロの能役者が英語で能を公演する。

(10) 2006年(平成18年)10月14日 土曜日

きょう「英語能・ハムレット」

市制一周年記念事業

宮古島市 伊志嶺市長 表敬訪問

きょう(14日)午後二時、宮古島市民劇場で「英語能・ハムレット」が上演される。上田邦義(71)名誉教授らによる。観世流能楽師が英語でシェイクスピアの「ハムレット」を演じる。観世流能楽師が英語でシェイクスピアの「ハムレット」を演じる。観世流能楽師が英語でシェイクスピアの「ハムレット」を演じる。

今回の公演は、日本の伝統芸能である能を、英語で演じるという試みや、前には、同市中央公民館で国際融合学会(上田邦義名誉教授ら)のシンポジウムを開催。上田会長は「英語能を一九八一年から国内外で百回以上演じてきた。今回の公演では観世流能楽師が英語で能・ハムレットのシテ(主役)を演じるが、これは能楽史上初めてのことで歴史的に意義がある」と、喜ぶのであり、多くの観客を呼びかけた。

伊志嶺市長は「シンポジウムが開催されることで、初めこの能公演を喜ぶのであり、ぜひ来島していただき、短い滞在期間が宮古で楽しんでほしい」と感謝の意を表わした。

市制一周年記念シンポジウムは午前十時から、市民会館大ホールで「二十世紀人間の進化と宮古島の輝き」をテーマに行われ、入場は無料。英語能・ハムレットは午後二時から、マテダ市民劇場で行われ、自由席は無料、指定席は三千円。プロの能役者が英語で能を公演する。

宮古毎日新聞

これに先立ち行われるシンポジウムは、「21世紀人間の進化と宮古島の輝き」がテーマ。文化の発展・融合という視点で、世界平和や地域発展を研究する国際融合学会の福留が開かれる。国際融合学会の上田会長が、自由席は無料で入場観覧券が必要。

長、日本大学芸術学部 小笠原教授 伊志嶺市長 宮古島林檎の園長 和洋 教諭 宮古市文化の発展 里崎さんら、多岐なベネリットが各分野から意見を述べる。同市中央公民館大ホールで午前10時から、入場無料。

・『宮古毎日新聞』2006年10月15日「来訪神の源流探る」

・『宮古新報』2006年10月15日「能楽師が初の英語公演」

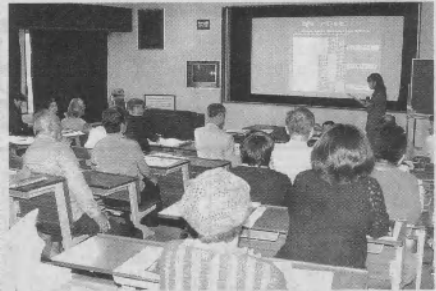
宮古毎日新聞 2006年(平成18年)10月15日 日曜日

来訪神の源流探る

国際融合文化学会
パントウの歴史など発表

宮古島市 伊志謝亮市長の市制一周年記念文化行事として、国際融合文化学会の第一回国内

大会十四日午後、宮古島市中央公民館で開催された。全国各地から参加者



来訪神パントウの源流などを探った国際融合文化学会の宮古島大会14日、宮古島市中央公民館

した大学教授ら発表者がそれぞれのテーマについて、宮古島・島尻の来訪神パントウを紹介された。参加者がパントウの源流を探った。研究発表は、V・ヘミンズウエイの作地に於ける臨死体験描写、パントウの仮面の比較研究、沖繩のハムレットの能の表現と文化融合などについて

行われた。島尻のパントウについて発表したのは秋田来訪神、平さんは東北の来訪神「ナマハゲ」と島尻のパントウを比較しながら話を進めた。パントウの仮面の由来について、島尻集落の北に位置する元島の海岸にクハの葉に包まれた仮面が流れてきて、これを持ち帰り祭りが始まったとされるなど話した。会場の参加者は、今も脈々と受け継がれるパントウの歴史を学ぶと、平さんの発表内容に関心を示していた。

2006年(平成18年)10月15日 日曜日

宮古新報

能楽師が初の英語公演

市制一周年 「ハムレット」を披露

宮古島市制一周年記念の中で「観世流宗家に許を公演するのは歴史的快イクスピアの英語だが、公演の英語能・ハムレット」(吉橋・宮古島市、国際融合文化学会、宮古島市制一周年記念文化行事実行委員会)が十四日午後、マティダ市民劇場で行われた。観世流能楽師の河本望氏がハムレットを演じ、会場に訪れた人はプロの能楽師の舞や英語の詞を堪能した。英語・能・ハムレットは一九八二年に静岡市の能舞台で初演されて以来、国内外で繰り返し上演されてきた。しかし、能楽師によって英語で公演されるのは今回が初めて。午後二時から開演した公演で、英語能シェイクスピア研究会表の上田邦義さんは同公演の解説



ハムレットを演じる能楽師の河本望氏(中央) =マティダ市民劇場

の舞を踊り、悟りが開けたハムレットが「生死はもやは問うまでもなし」と語り分けは原作と違いますが、イギリス公演でも好評だったと話した。また自身が作・脚付した「宮古島賛歌」を披露して市制一周年を祝った。同公演はきょう午前10時から、沖繩離島振興総合センターでも上演される。

・『宮古毎日新聞』2006年10月15日「能の『美』を堪能」

2006年(平成18年)10月15日 日曜日

宮古毎日新聞



能の「美」を堪能

市制1周年記念公演

英語で「ハムレット」上演

宮古島市(伊志嶺亮市長)の市制1周年を記念する公演「英語能・ハムレット」が十四日、マティダ市民劇場で上演された。能楽師によって英語で公演される初めての舞台。訪れた大勢の市民らは能の「美」をゆっくりと堪能した。きょう十五日午前十時から、池間島離島振興総合センターでも行われる。

公演は午後二時に開演した。はじめに、英語能シニイクスピア研究会の上田邦義代表が解説と祝言小唄を行い、この中で自ら作った「宮古島賛歌」を披露した。賛歌では「宮古め美さる世界ぬ美さ」などと表現し会場を拍手の渦に包み込んでいた。

演目に入ると、はじめに仕舞が演じられた。引き続き、英語能・ハムレットが上演された。デนมマーク王子ハムレットが愛するオフィリアの

死に遭遇し、変わりゆく。神秘的披露し、会場の観心機の変化を美しく、神一姿の視線をき付けにしていた。

上演後は、会場から出演者に対する大さげ拍手が送られると、六百五十年間にもわたる能の歴史と芸術性に大勢の市民が感嘆の声を上げていた。

英語による能ハムレットが上演された
14日マティダ市民劇場

【10月16日】

・『宮古毎日新聞』2006年10月16日「池間島で交流深める」

池間島で交流深める

国際融合文化学会

能を堪能、クイチャーで歓喜

池間島特別公演「英語能・ハムレット」(主催、興隆センター)で開かれ、催し、英語能「エイクスヒア」研究会、NPO法人「国際融合文化学会」(上田邦)、「ま福祉支援センター」(義倉)の交流会が行わ

れた。住民らは能の世界を堪能し、交流会のクイチャーでは、全員が歓喜にあふれた。能公演では、仕舞「高砂」・「羽衣」、英語能「ハムレット」が短縮版で演じられた。大勢の住民らは大きな拍手を送り、初めて見る能の世界に浸っていた。

交流会のクイチャーでは、池間老人クラブの女性たちが着物を身にまとい、大きな輪で踊った。「ヒヤッサイ」の掛け声を合わせて伸び伸びと披露。同学会の会員や市民らは、途中から輪に入り、女性たちの踊りをまねながら楽しそうに踊った。

交流会に先立ち、上田会長が「二十一世紀に生きる」と題して講話した。その中で、上田会長は「私は、美しい心で、美しい言葉で、美しく行動する人生を送りたい」

クイチャーで交流を深めた参加者ら「15日、池間島難島振興総合センター」

